

周防大島の話題



▲避難所やその他にも避難できそうな場所、危険箇所、避難経路などを地図上にしるす参加者

自主防災組織リーダー研修会

8月1日、地域防災力のさらなるレベルアップにつなげることを目的に自主防災組織の代表者などを対象とした「自主防災組織リーダー研修会」が開催されました。

研修会では、「2024年能登半島地震を踏まえた災害への備えを考える」と題して、山口大学大学院 准教授 瀧本浩一氏による講演会が行われ、その後、災害図上訓練「DIG（ディグ）体験」を用いた演習では、自分たちの地域の地図を使用し、予想被害規模や危険な場所、役に立つ施設、近所の人々の状況など、さまざまな視点からグループで意見交換を行い、いざという時に非常に役立つ防災マップを作成しました。

年に一度のこの時を

8月15日、くか夢夏まつりが山口県大島防災センター防災公園で開催されました。

会場では、屋台やキッチンカーが並び、特設のステージでは、太鼓や歌が披露されるなど、地元の人や帰省された多くの人で賑わいました。また、夏まつりの最後には、あまり見る機会の少ない、至近距離からの多彩な打ち上げ花火に、訪れた人から大きな歓声がありました。



▲久賀保育園による太鼓の披露



大輪の華、咲く

8月16日、橘庁舎周辺で周防大島花火大会・盆踊り大会が開催されました。

今年は土曜日の開催となったこともあり、早くから会場は多くの人で大変賑わいました。少し暗くなる頃には灯籠の幻想的な灯りが水面を映し、最後には4,000発の打ち上げ花火が、夏の夜空に大輪の華を咲かせました。